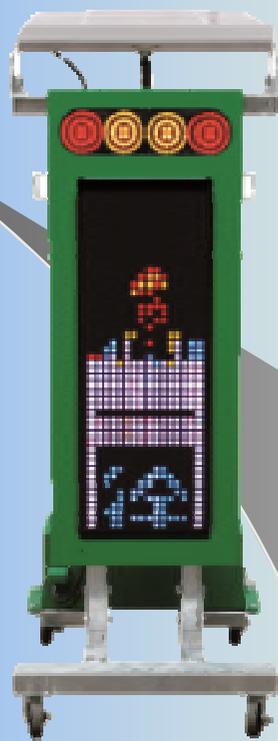


# ソーラーガードマンメッセージボード

## CMF-(IV)型用文字編集・書き込み方法



# 1.準備（必要な物）

- (Ⅳ)型用編集ソフト
- パソコン  
(Windows2000・XP・7・8 USBスロットル付き)
- USBメモリー

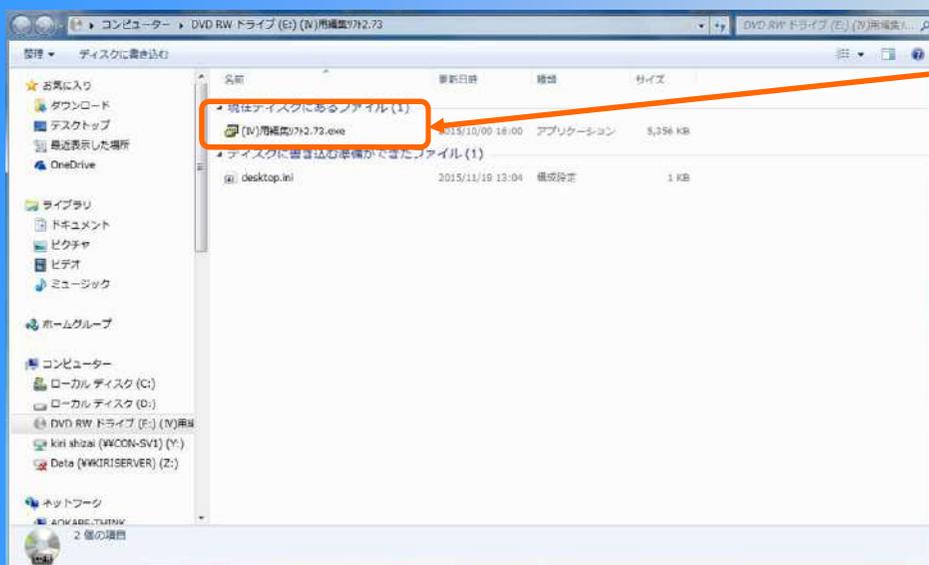


USBメモリー

※ 編集ソフトは無償支給となります。必要な際は、弊社にお申し付け下さい。

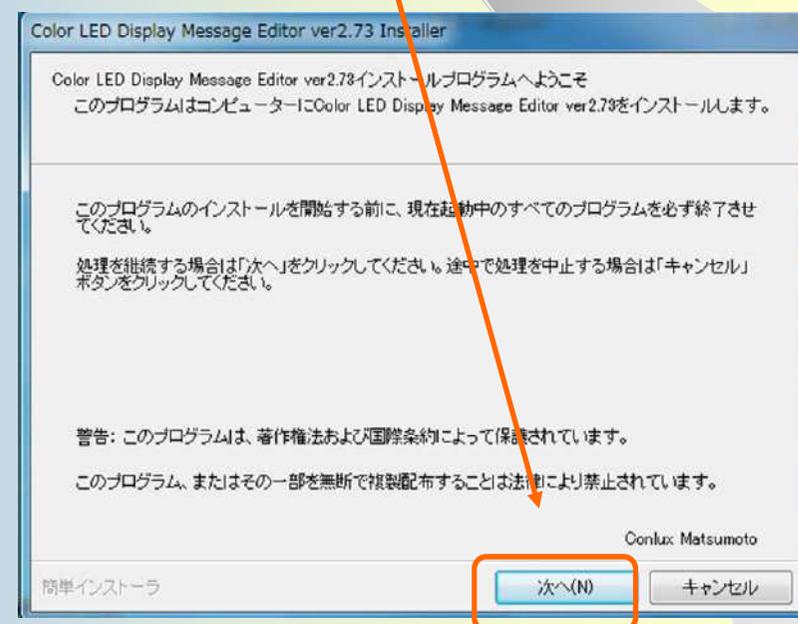
## 2. ソフトのインストール 【その1】

- インストール用のCD-ROMをパソコンにセットします。
- CD-ROMの内容を開くと、「(IV)型用編集ソフト 2.73.exe」というフォルダがあります。そのアイコンをクリックするとインストールプログラムに入ります。



① クリックします。

② 次へ(N)を押します。

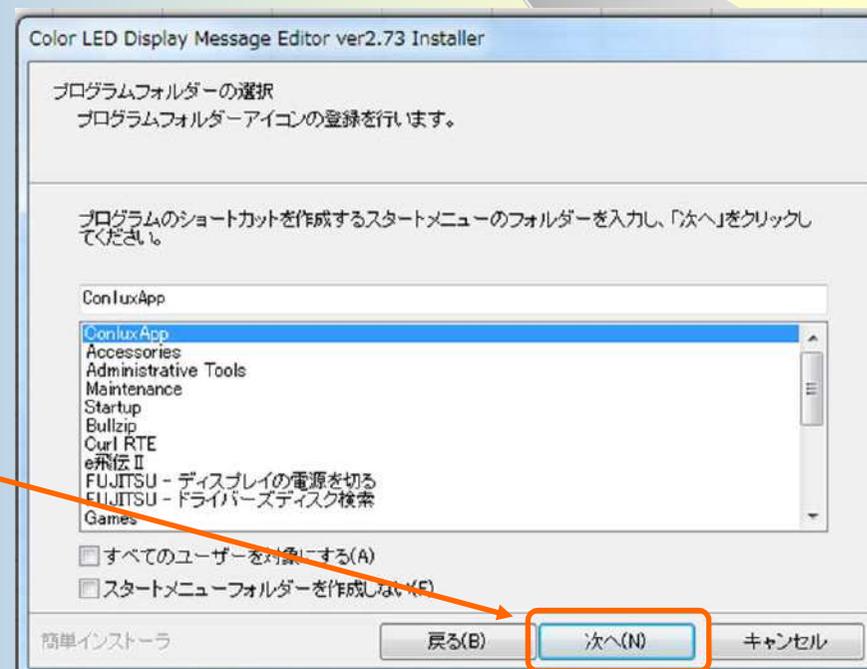


## 2. ソフトのインストール 【その2】



③ 次へ(N)を押します。

④ 次へ(N)を押します。



## 2. ソフトのインストール 【その3】

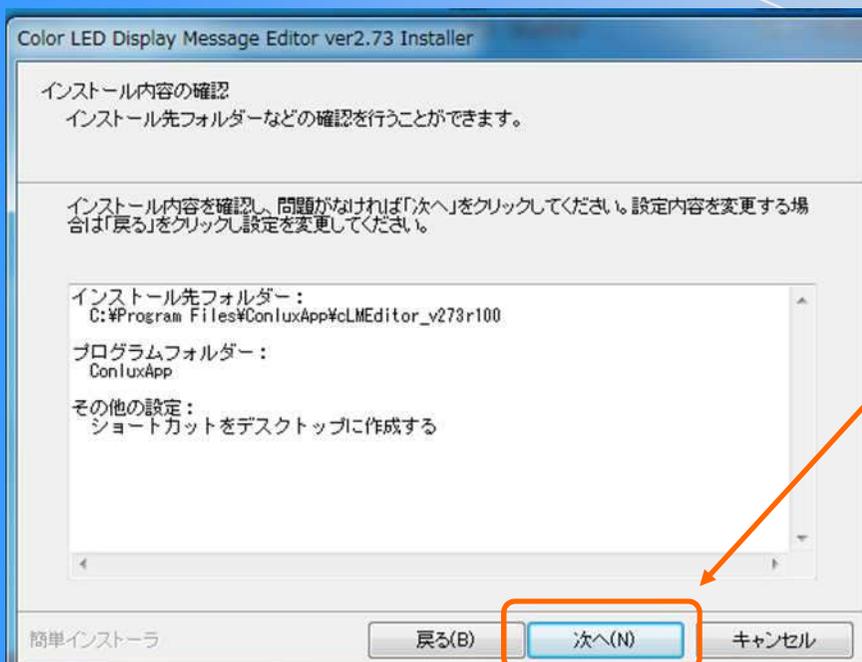


⑤ 次へ(N)を押します。



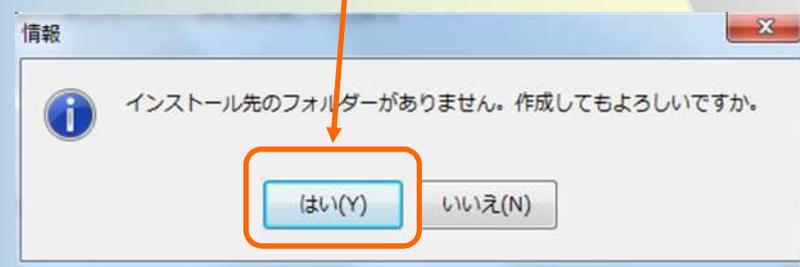
⑥ 次へ(N)をクリックします。

## 2. ソフトのインストール 【その4】

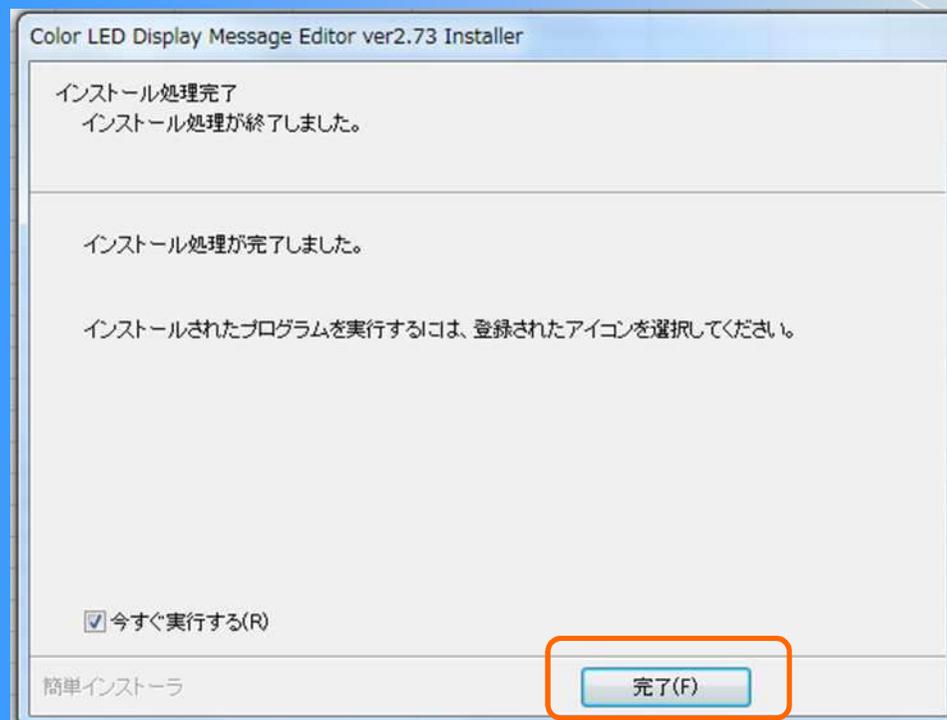


⑥ 次へ(N)を押します。

⑦ はい(Y)を押します。



## 2. ソフトのインストール 【その5】



パソコン画面



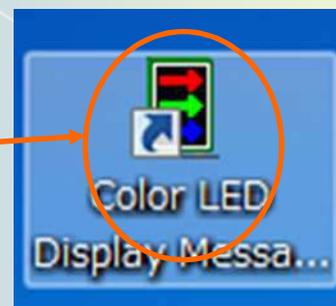
アイコン

- ⑧ 完了(F)をクリックするとインストールが完了し、デスクトップに編集ソフトのアイコンが現れます。

### 3. 編集ソフトの起動 【その1】

- 『ColorLED Display Messa....』 をクリックし編集ソフトを起動します。

① アイコンをクリックします。



② OKを押します。

### 3. 編集ソフトの起動 【その2】

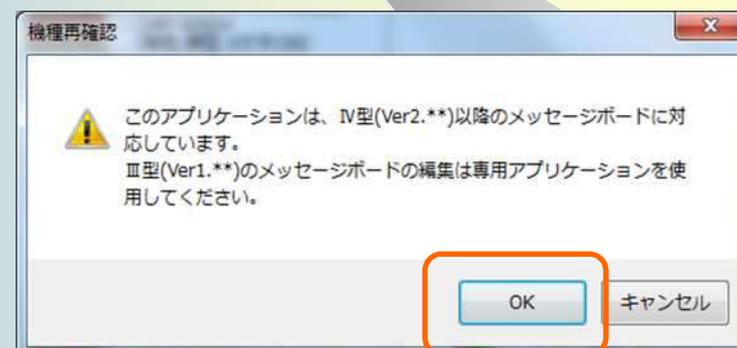


③ OKを押します。

### 3. 編集ソフトの起動 【その3】



④ 編集する機種を選んで  
チェックを入れ、OKを押します。



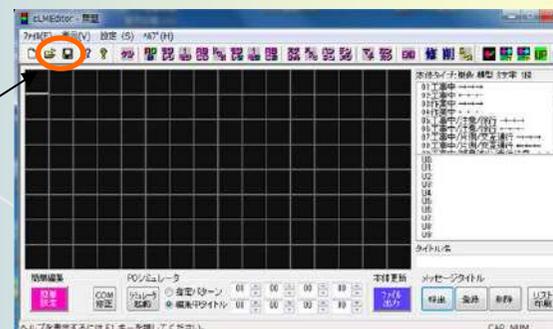
⑤ OKを押します。



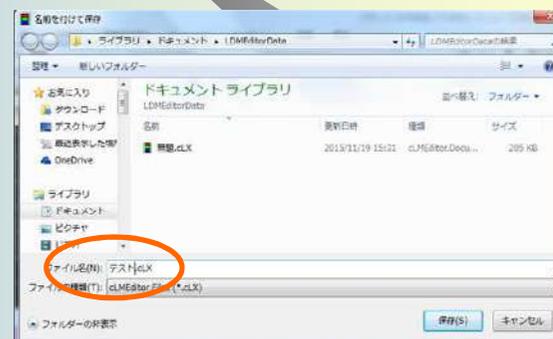
編集画面へ

## 4. メッセージファイル新規作成

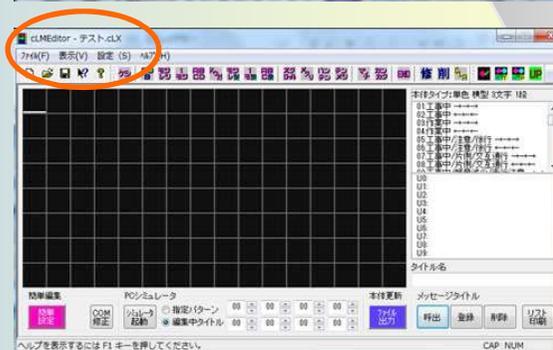
- 『保存』のボタンを押して新規ファイルを作成します。



- ファイル名を入力し、保存する。  
(例：ファイル名 テスト)



- 『保存』すると画面右上の表示が『無題』からファイル名に変わります。  
(例：ファイル名 テスト)

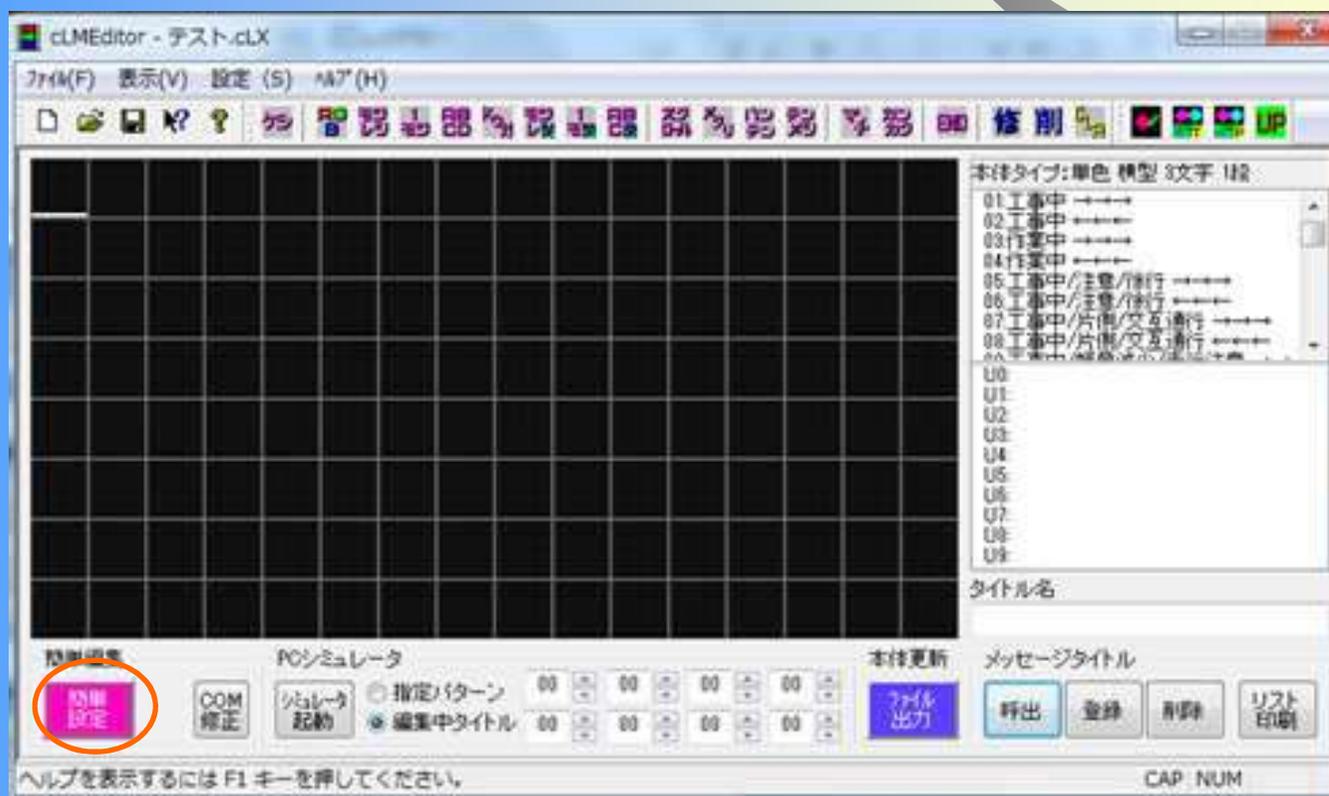


※ ここで作成したファイルが、メッセージボードに書き込む際のファイルになります。オリジナルメッセージや、前に作成したメッセージに追加して、書き込む場合は、『メッセージファイルを開く』のボタンを押して、ファイルを開いてから、文字編集を行ってください。

## 5. 文字編集例 〈簡単編集スクロール表示〉 【その1】

- 実際に文字を作成しよう！  
例：『注意して走行してください』（スクロール）の繰り返し

① 『簡単設定』のボタンを押す。



## 5. 文字編集例 〈簡単編集スクロール表示〉 【その2】

② 文字列A(1行目)にご希望の文字を入力します。

例:注意して走行してください。

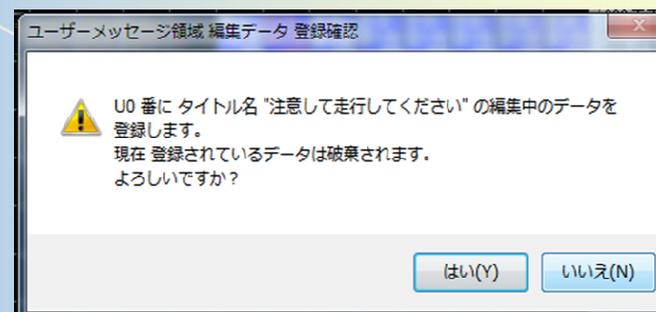
表示文章 簡単設定 [文章]

開始時画面消去	文字登録領域以外消去				
文字列 (有効文字数 64文字)	全角換算文字数 12	文字配置	表示色	表示方法	
文字列A (1行目)	注意して走行してください	12	中央	白	スクロール
半角は数値のみ有効	<input type="checkbox"/> 文字列A 縦倍角	スクロール速度			
表示保持時間	1.0秒	ふいつう			
終了時画面消去	消去しない				
タイトル登録先	U空き領域に自動登録	キャンセル	OK		

③ 『OK』ボタンを押して戻る。

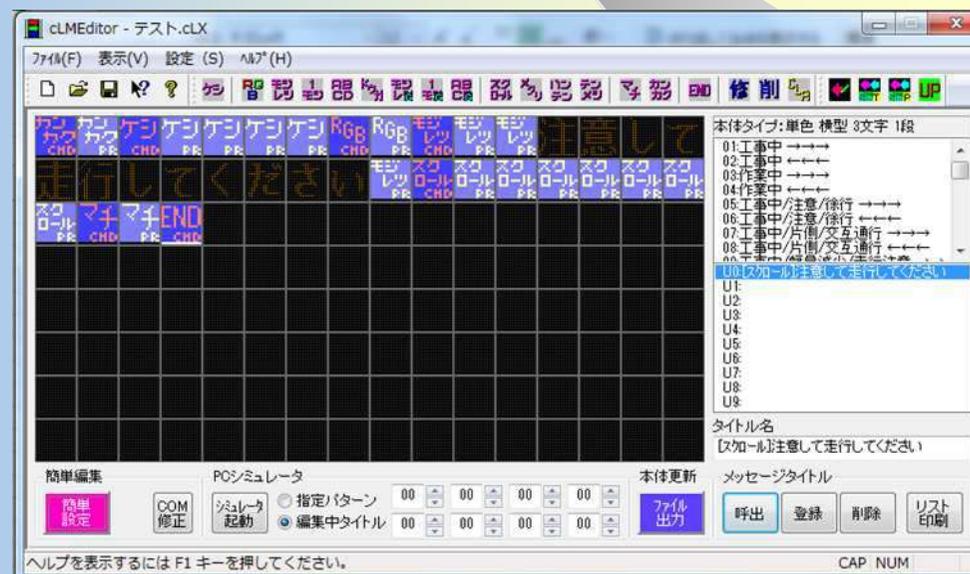
## 5. 文字編集例 〈簡単編集スクロール表示〉 【その3】

- ④ 『はい』 ボタンを押す。  
『U0』にタイトル名が登録されます。



これでメッセージの編集が終わりました。

編集したメッセージが、  
実際にどのように表示されるか  
PC表示シミュレータで確認できます。



※ 他の文章も追加する場合は、5.文字編集例の【その1】～【その3】を繰り返すになります。

## 5. 文字編集例〈簡単編集スクロール表示〉【その4】

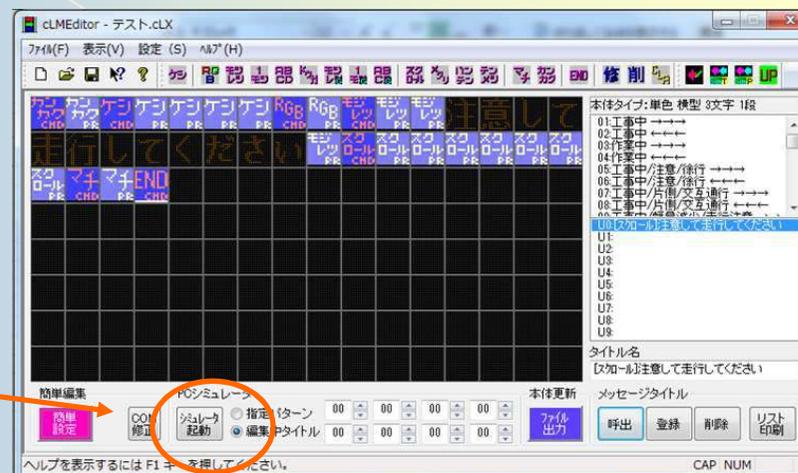
### ● 表示確認

入力した文章が、実際のメッセージボードでどのように表示するか確認できます。

- ① PCシュミレーターの『**編集中タイトル**』が選択されているのを確認する。

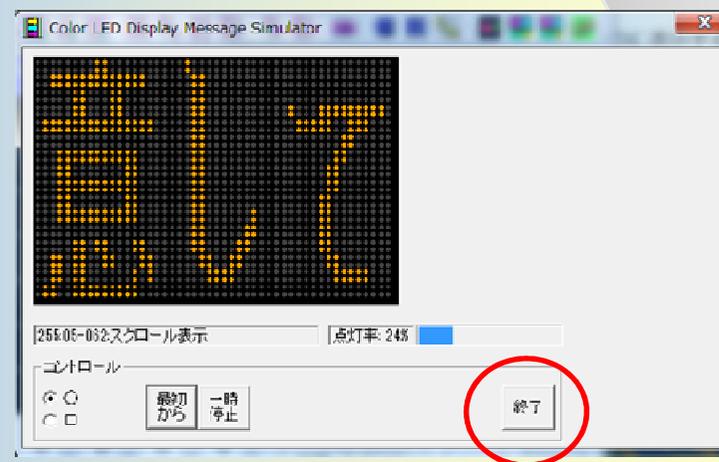
※ 通常は『**編集中タイトル**』が選択されています。

- ② 『**シュミレーター起動**』ボタンを押す。



『**シュミレーター起動**』ボタンを押すと、  
実機に書き込んだ際、表示する文字や  
動きが確認できます

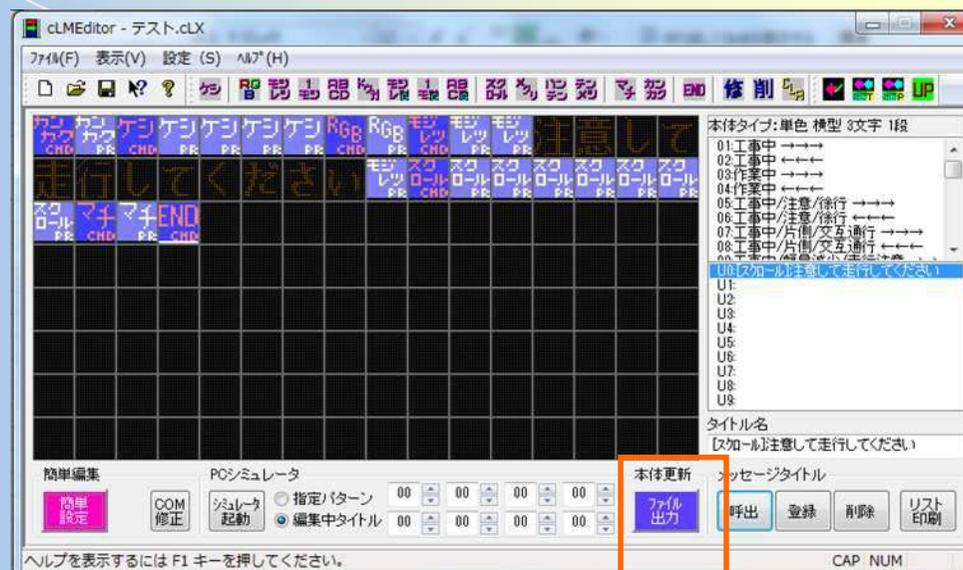
- ③ 確認できたら『**終了**』を押し、  
シュミレーターを閉じます。



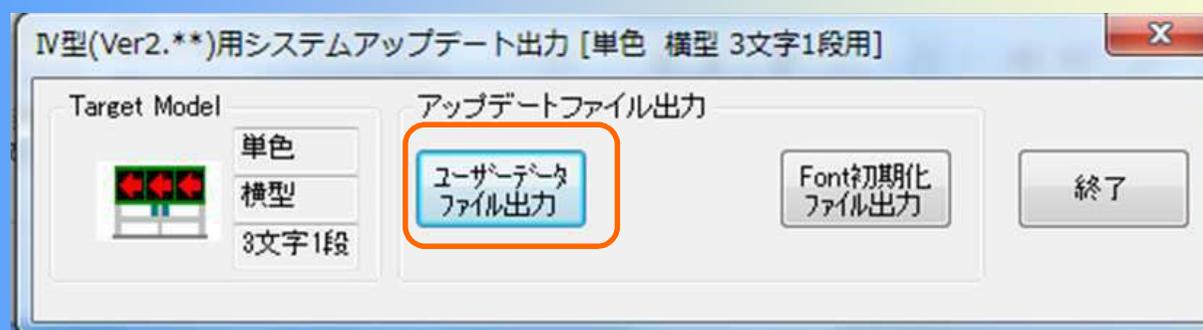
## 6. ファイル出力（USBメモリーにデータ転送）【その1】

● 作成した文章のデータをUSBメモリーに転送します。このUSBメモリーを本機に接続すると書き込みが出来ます。

- ① USBメモリーをパソコンに接続する。
- ② 『ファイル出力』を押す。

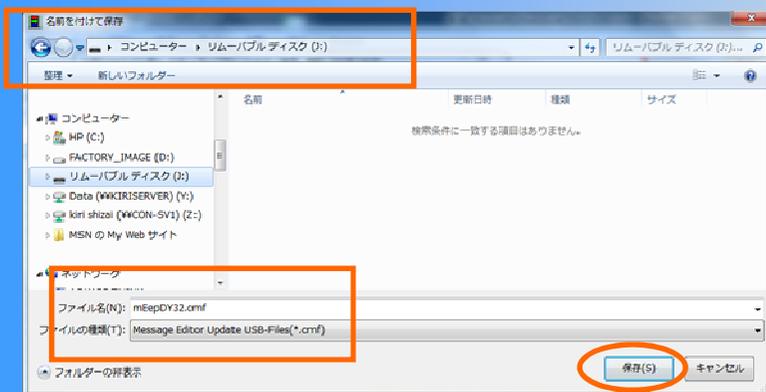


- ③ 『ユーザーデータファイル出力』を押す。



## 6. ファイル出力（USBメモリーにデータ転送）【その2】

⑤ 『リムーバルディスク』（USBメモリーの接続している場所）を選択します。



⑥ ファイル名を変えず にそのまま『保存』します。

機種によりファイル名が異なります。

※ 注意 保存する時は、ファイル名を絶対変えないで下さい。  
本機がデータを読み込む際、このファイル名を探して  
書き込むしくみになっているため、ファイル名を変えると書込みが行われません。



⑦ 『OK』を押し  
USBメモリーをパソコンから外す。

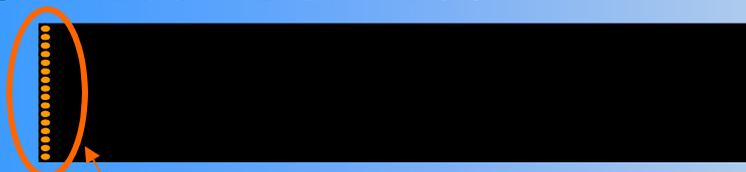
## 7. 本機（ソーラーガードメッセージボード）に書込み

- 作成した文章のデータが転送されたUSBメモリーを本機に接続します。

- ① 本機（メッセージボード）の電源を切ります。
- ② 本機（メッセージボード）のソーラーを張り上げ『背面口』のネジ4本を外す。【機種によりUSB差込箇所が異なります】
- ③ 基板裏面右中央部のUSB端子にデータ転送したUSBメモリーを接続する。
- ④ 本機（メッセージボード）の電源を入れます。

※ USBメモリーを接続した状態で電源を投入すると自動的に書込みが開始されます。（約3分程度）

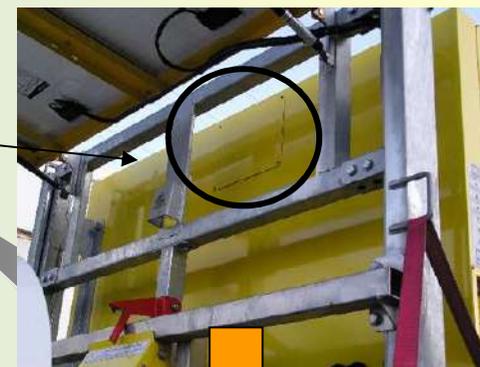
- ⑤ 書込み表示を確認します。



本機LED表示部

※ 書込み中は、メッセージボードのLED表示部の左端1列が点灯し、順次点灯する列が増えていきます。  
点灯しない場合は、再度データを転送し直して下さい。

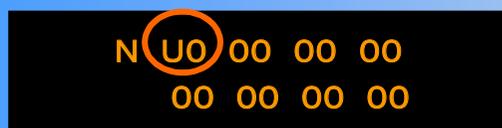
- ⑥ 本機（メッセージボード）が再起動し、転送が終了します。



## 8. 本機（ソーラーガードメッセージボード）に表示

● 作成した文章を本機（メッセージボード）に表示します。

- ① 本機（メッセージボード）の『カーソル移動』ボタンを押し、『10桁』『1桁』ボタンで『U0』に合わせる。



本機LED表示部

※ 『U0』以外を『00』に合わせると作成した文章のみが表示されます。文字組合せ方法は、通常の設定と同じです。

- ② 本機（メッセージボード）の表示確認をします。

例：『注意して走行してください』



本機LED表示部

- ③ 終了。

※ 転送したデータは、本機の電源を切っても消えません。

御不明点など御座いましたらご連絡下さい

長野県安曇野市穂高5252番2  
TEL 0253-81-0155  
URL:<http://www.inform-ex.co.jp>

株式会社インフォメックス松本